

## 地域ブランド創造活動—あわら湯けむり創生プロジェクト—

あわら湯けむり創生塾

塾長 前田 健二・副塾長〇美濃屋啓昌・副塾長 三上 徹

### 1. 活動方針・目的

明治16年秋頃、灌漑用の井戸を田んぼに掘った際、塩分を含んだ温泉が湧き出し、翌年6月1日に芦原温泉開湯式がおこなわれ芦原温泉の歴史は始まりました。福井震災、芦原大火、豪雪等を克服し昨年開湯120周年を盛大に迎える事ができました。その間、宿泊客の利用が100万人を越えたのは、昭和59年でその後も順調に推移し、平成3年には136万人に達しました。平成3年を境に宿泊客は頭打ちとなり、平成7年の阪神大震災で関西方面の宿泊客の減少をはじめ、様々な問題等によりその後は県内客も減少傾向となっている。近年各旅館が、施設充実・営業努力で落ちこみを食いとめる努力をしているが観光客減少回避の為に温泉地としての交通や町並みなど魅力ある整備はもとより、地域の素材を活かした連携による「観光温泉地・あわら」の魅力づくりが大切であると考え。現在もあわら市の核である「温泉」と「商業」と「農業」がうまく連携がとれていないのが現状で個々の素材や魅力を最大限に活かしその連携によりさらに魅力あるまちを創生していく。「湯の街・あわらに活気を戻したい」「今後温泉地として、どうあるべきか」「福井県の本物の素材を全国にどうPRするか」を考えた時、まずは地域の「宝」である「温泉」を中心として地域の商業関係者、農業関係者と共に新しいあわら温泉の魅力を最大限に引き出す事を目的としこのあわら市湯けむり創生塾は設立されました。温泉・生産・加工・製品化・商品化・販売・広報・情報発信などの、各業務の連携により地域あわら独自の地域産業システムの再構築を図り温泉観光を基軸として商業をはじめ農業や他産業の波及、振興を図りあわら市の活性を創生していくことを設立の趣旨とする。

### 2. 活動内容

「あわら温泉賑わい創生部会」

- ・芦原温泉旅館協同組合加盟旅館18軒による湯めぐり企画
- ・あわら温泉湯めぐり手形・マップを作成し18年度7月より実施する
- ・一旅館一おもてなしの日、福井県民の日を制定
- ・女将ギャラリーの充実
- ・地域商業施設との業務提携(あわら市マイレージの導入)
- ・歴史に基づく街路ネーミングにより散策しやすい環境整備

「オリジナル商品創生部会」

- ・あわら温泉オリジナル商品開発
- ・あわら温泉オリジナルパッケージの作成
- ・各種イベントに伴うオリジナル商品の開発販売
- ・アンテナショップによるオリジナル商品販売PR

「駅前広場賑わい創生部会」

- ・屋台村の設置による駅前広場への集客
- ・屋台村による地産地消の導入
- ・夕市との連携による賑わいづくりと地域物産のPR

「情報発信・おしえる座あ創生部会」

- ・あわら湯のまち駅舎横に情報収集・発信基地を設置
- ・地域の人々、各種団体等と情報の共有ネットワーク化
- ・発型情報、着型情報の提供
- ・レンタルサイクリングによる新しい地域散策の提案

### 3. 今後の課題等

それぞれの事業を助成期間終了後に独立採算させること

# 地域ブランド創造活動

## — あわら湯けむり創生プロジェクト —

### あわら湯けむり創生塾

#### — 設立趣旨 —

明治16年秋頃、田圃に掘った灌漑用の井戸に、塩分を含んだ温泉が湧き出した。翌年6月1日には芦原温泉開湯式がおこなわれ芦原温泉の歴史が始まった。福井震災、芦原大火、豪雪等を克服し、平成16年には開湯120周年を盛大に迎える事ができた。その間、昭和59年には宿泊客の利用が100万人を越え、その後も順調に推移し、平成3年には136万人に達した。

平成3年をピークに宿泊客は頭打ちとなり、平成7年の阪神淡路大震災で関西方面の宿泊客が減少しはじめ、平成9年のロシアタンカー重油流出事故など様々な問題により、県内容も減少傾向となっている。近年各旅館は、施設の充実や営業努力で落ち込みを食いとめる努力をしているが、観光客減少回避のためには、温泉地としての交通や町並み整備はもとより、地域資源を活かした「観光温泉地・あわら」の魅力づくりが大切であると考えます。

あわら市の核である「温泉」と「商業」と「農業」を連携させ、個々の素材を最大限に活かし、さらに魅力あるものとしていくことが重要である。

「湯の街・あわらに活気を戻したい」

「今後温泉地として、どうあるべきか」

「福井県の本物の素材を全国にどうPRするか」

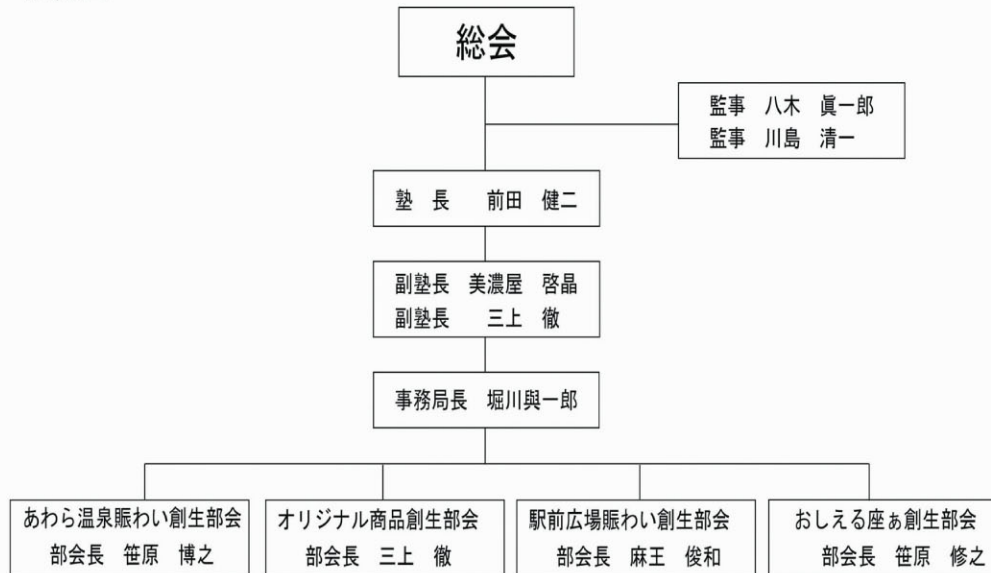
を考えた時、まずは地域の「宝」である「温泉」を中心に捉え、地域の商業関係者や農業関係者と共に、新しいあわら温泉の魅力最大限に引き出す事が最重要課題であると結論付けられた。

温泉・生産・加工・製品化・商品化・販売・広報・情報発信などの各業務の連携により、地域あわら独自の地域産業システムの再構築を図り、温泉観光を基軸として、商業をはじめ農業や他産業の波及・振興を図り、あわら市の活力を創生していくことを設立の趣旨とする。

### 構成員

団体名称	代表者	担当者	担当者	担当者
あわら市観光商工課	課長 川島 清一	地域再生マネージャー 吉川 博	課長補佐 島田 俊哉	
あわら市商工会	会長 杉田 武雄	青年部長 三上 徹	青年部副部長 伊藤 宏之	青年部員 八木 康史
あわら市観光協会	会長 美濃屋 征一郎	協会員 前田 健二		
あわら温泉旅館協同組合	理事長 八木 眞一郎	組会員 伊藤 由紀夫	組会員 間宮 靖裕	組会員 奥村 隆司
RATY (あわら温泉活性化研究会)	座長 美濃屋 啓晶	会員 藤田 忠	会員 麻王 俊和	会員 笹原 修之
	会員 堀川 與一郎	会員 笹原 博之		

組織図



— 活動経歴 —

(あわら湯けむり創生塾の活動経歴)

### 「芦原温泉旅館協同組合」

- ・ 昭和44年2月1日にそれまであった各温泉地区単位の組合を統合し発足
- ・ 泉源の安全確保と湧出泉の公正な利用を旨とし、あわせて各旅館が独自の持ち味を発揮しながら全体としてバランスのとれた協調体制を維持し、魅力に富んだ温泉街を発展させるために組織され現在に至る

### 「RATY～Realize After Ten Years～」

- ・ 2005年1月、「10年後のあわら市がどうあるべきか」を考え、基本コンセプトの志をしっかりとった観光カリスマの育成を目的に結成
- ・ 毎月1回～2回会議を開催し10年後のあわら市がどうあってほしいかを検討
- ・ 地域ブランド創造活動推進事業計画(ビジネスプラン)の作成母体

## — 活 動 内 容 —

(あわら湯けむり創生塾の主な部会と活動内容)

### 「あわら温泉賑わい創生部会」

- ・ 芦原温泉旅館協同組合加盟旅館18軒と温泉文化施設「セントピアあわら」による「湯めぐり」企画
- ・ 地元間伐材を活用したあわら温泉「湯めぐり手形」や「マップ」を作成し18年8月より実施
- ・ 一旅館一おもてなしの日、福井県民の日を制定し、日頃の感謝とおもてなしの心をアピール
- ・ 来館者をおもてなす「女将ギャラリー」等の楽しさの演出の充実

### 「オリジナル商品創生部会」

- ・ あわら温泉オリジナル商品(菓子、土産など)開発
- ・ あわら温泉オリジナルパッケージの作成
- ・ 各種イベントに伴うオリジナル商品の開発・販売
- ・ おしえる座あにてオリジナル商品販売・PR

### 「駅前広場賑わい創生部会」

- ・ 屋台村の設置による駅前多目的広場への集客、旅館でのB&Bシステム(夕食は屋台村で)の導入
- ・ 屋台村と地元農産物生産者との連携による地産地消の推進
- ・ 夕市との連携によるさらなる賑わいづくりと地域物産のPR



## 「おしえる座あ創生部会」

- ・ あわら湯のまち駅舎内に情報収集・発信基地を設置、地元住民と観光客との交流の場の提供
- ・ 地域の人々、各種団体等と情報の共有ネットワーク化
- ・ 発型情報、着型情報の提供
- ・ レンタルサイクルによる新しい地域散策の提案

## — 活動実績 —

(あわら湯けむり創生塾の活動実績)

## 「湯めぐり手形」

- ・ 平成18年8月1日から販売開始  
(1枚／1,500円)
- ・ 一年間で約15,000枚突破
- ・ 手形1枚につき、3ヶ所の施設利用可能
- ・ 平成19年9月より手形奉納台設置  
(薬師堂 3ヶ所)



## 「湯めぐりグッズ」

- ・ 平成19年5月1日から販売開始
- ・ 湯めぐりフェイスタオル(1枚／150円)
- ・ 湯めぐりバスタオル(1枚／700円)
- ・ ナイロンタオル「こすれるざあ」(1枚／400円)  
〈株式会社サラックスとのコラボレーション商品〉



## 「あわら温泉 美肌水」

- ・ 平成19年5月1日から販売開始  
(1本/1,050円)
- ・ 株式会社リプラスの協力により製造
- ・ あわら温泉源泉100%を使用した無添加化粧水
- ・ 温泉文化施設「セントピアあわら」より取水



## 「おしえる座あ」

- ・ 温泉街の中を移転し、平成19年2月1日から  
えちぜん鉄道あわら湯のまち駅舎内にオープン
- ・ 湯めぐり情報、旅館情報、観光情報などの情報  
発信スペースとして、地元住民と観光客との交流  
の場となる
- ・ オリジナル商品の販売



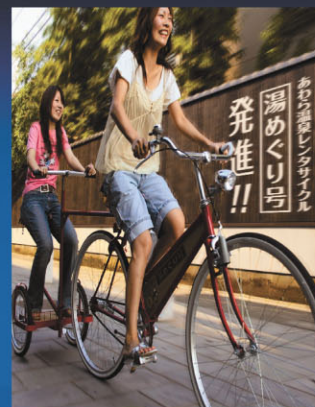
## 「レンタサイクル」

- ・ 福井県初の「二人乗り貸し自転車」

1時間／ 500円

3時間／1,000円

1日／2,000円



- ・ 既製品の改造により、福井県警から許可申請済
- ・ 湯めぐりや温泉街のみならず、市内散策が可能
- ・ えちぜん鉄道の「サイクルトレイン」も利用可能  
(1台／200円)



## あわら温泉屋台村

### 「湯けむり横丁」

- ・ 温泉街の中心地に屋台村を建設
- ・ 温泉街に賑わいを創出させる目的
- ・ 低出資金での出店可能
- ・ 現在5店舗出店  
(ラーメン、おでん、串揚げ、越前そば、居酒屋)
- ・ 平成20年6月頃に10店舗に増設
- ・ 現在、**出店者募集中！！**

